



ひとり親家庭を応援します



体験の風をおこそう

養育費・面会交流等 専門相談

◎1回50分

◎専門相談員が説明・支援

法律相談

◎1回30分

◎弁護士による
法律全般の悩み事相談

就業相談

◎1回45分

◎就業相談員が丁寧にサポート

★センターでは
オンライン・電話相談も可能
★予約制・無料
★離婚前の相談も可能
お申込みはHPから⇒

神戸市ひとり親家庭支援センター

ひとり親家庭やひとり親家庭を経た寡婦の皆さんが共に、自立したより豊かな暮らしをするための講座や各種の相談、親子のふれあい事業、LINEやホームページで有益な情報発信を行っています。

社会福祉法人神戸市母子福祉たちばな会が神戸市より委託を受け、指定管理者として運営を行っています。



HP



LINE

新年に寄せて



神戸市長
久元 喜造

新しい年を迎えるにあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

昨年秋の市長選挙におきまして、市民のみなさんからご信任を賜り、引き続き4期目の市政を担わせていただくこととなりました。これからも初心を忘れることなく、市民のみなさんからの期待にお応えできるよう、全力を尽くしていく所存です。

今、神戸のまちは、大きく変わりつつあります。都心三宮、ウォーターフロントでは新たな賑わいと美しい風景が生まれ、郊外では拠点駅を核に、まちが新たな表情を見せ始めています。こうしたまちの成長を市民一人ひとりの暮らしの豊かさへと着実につなげていくことが必要です。将来の世代に対して、責任を持って引き継ぐことができる持続可能なまちづく

りを進めます。

都市の繁栄は災害に強い、強靱な基盤があって初めて成り立ちます。災害や感染症などあらゆる危機から市民を守る安全・安心なまちづくりに引き続き取り組むとともに、ひとり親家庭をはじめとする子育て支援のさらなる充実、教育環境の整備、地域医療や福祉の強化など、すべての世代がいきいきと暮らせる「人間らしいあたたかいまちづくり」に注力します。

これを実現するためには、市民のみなさんの参画が不可欠です。対話を重ね、学生や企業・地域団体などの多様な主体による地域協力を一層推進していきます。

末筆ではありますが、本年がみなさんにとって、すばらしい一年となりますことをお祈りいたします。



神戸市母子福祉
たちばな会
会長
山形久美子

新春を迎え、皆さまには健やかに新しい年をお迎えることとお慶び申し上げます。

旧年中は当会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

日々奮闘しておられるひとり親の皆様にとりまして、2026年が少しでも穏やかで、喜びに満ちて過ごせる年であるようにと願っています。

さて昨年、国内では「いのち輝く未来社会」がテーマの万博が開催され、一般来場者は2557万人と多くの方が参加され、明るい未来に思いを馳せました。一方、米をはじめ、あらゆる諸物価の高騰が続いておりますが、日本で初めての近畿出身の女性総理大臣も誕生し、何か期待を抱かせるものとなっています。

そういった社会情勢で今、ひとり親家庭をめぐる「共同親権」の導入が進められています。

当会は神戸市より指定管理を受け「神戸市ひとり親家庭支援センター」として、皆様に一番身近な場所で、各種専門相談、またセミナーやイベントの開催など、自己啓発に役立つ「健康づくり」などに取り組み、また各区でも各種の心こもった催しを展開し、活動しています。

本年もひとり親家庭及び寡婦の生活基盤の安定と、そして未来を担う子どもたちの健やかな成長を目指し、その福祉の向上を求めて、神戸市および地域での活動を展開していきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

行事・セミナーを開催

親子ふれあい事業

日帰りバス旅行 7月「うどん作り&四国水族館」

四国のうどん学校で、手作りうどん体験!ランチは出来立ての自作うどんを堪能(^_^) その後、四国水族館へ。生きものを身近に感じる数多くの水景を楽しみました。

日常から離れて、親子共々笑顔の1日になりました。いつか“あの日のこと”を親子で話そう! 「今まではどんな雰囲気のパスツアーなんだろうかと考えすぎて、申し込みめんでしたが、ツアー内容がとても魅力的だったので申し込みました。楽しかったです。」(参加者感想)



親子イベント 8月「わらび餅をつくろう!」

様々な体験を重ねることで、ワクワクをみつけたり、自信がついたり、繋がったり… 親子時間を楽しみました!

「グループになって皆と協力して作れてすごく楽しかった。」「目で楽しむわらび餅と、本物の味と両方体験出来て良かった。」(参加者感想)

お役立ちセミナー お役立ちセミナーをぜひご活用ください

- 実践、初めての片づけ講座
- ひとり親家庭のマナーとライフプラン
- お父さんの簡単料理
- ビューティーアップセミナー
- 正しい姿勢と歩き方
- 腸内環境を大切にする大人暮らし など

予定

養育費確保支援事業

離婚前後講座 年2回

- 1月14日開催
- 「離婚のゼロから養育費と親子交流まで」
離婚を考えた時に基礎知識は必要です。
民法改正と子の福祉について考えましょう。

日常生活の相談

日々の生活のこと 対人関係のこと
これからのこと などなど
ひとりで悩まないで気軽にご利用ください

- 相談日: 毎月第2火曜日 10時~15時
 - 一人1回50分
- 電話・面談・ZOOMで予約優先・秘密は厳守します



ふらっとカフェ

ひとり親の皆さんの交流の場です。

お気軽にお立ち寄りください♪

- ひとり親家庭支援センター3階集客室
2026年1月25日、3月22日 他
 - 西区文化センター
3階和室1 2026年2月22日
- ※詳しくはHP/LINE で



令和7年度 神戸市母子寡婦福祉大会

● とき：令和7年12月14日(日) ● ところ：新長田ピフレホール

全国統一テーマ「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」

体験発表

※ご本人の承諾の上、編集しました。



「母の支えと野球がくれた夢」岡崎さん(高校2年生)

私の将来の夢は、野球道具の製造に携わり、最終的に自分のブランドを立ち上げることです。小学生のころから続けてきた野球の経験、母の支え、そして工業高校で学んでいる技術が、その夢を実現するための大きな力となっています。

野球を始めたのは兄の影響でした。兄が地元チームで楽しそうにプレーする姿を見て、自分も挑戦したいと思ったのがきっかけです。練習を重ねるうちに本気で取り組むようになり、小学生ではキャプテンを任されました。仲間をまとめる経験から協力することの大切さや責任感を学び、それらは今の考え方の基礎になりました。

母子家庭で育った私にとって、母の存在は大きな支えでした。忙しい中で送迎や道具の準備をしてくれ、思うように結果が出ないときも励ましてくれました。母の支えがあったからこそ、野球を続け、努力を積み重ねる大切さを学ぶことができました。結果が思うように出ないときも、「諦めずに続けることが一番大切だよ」という母の言葉に励まされ、前を向くことができました。母の存在は、私にとって単なる家族の支えではなく、夢を追い続ける力そのものです。

野球を続ける中で、私は道具の重要性に気づきました。グラブの感触やバットの重さなど、わずかな違いがプレーに大きく影響します。自分の力を最大限に引き出す道具の存在を理解したことで、「選手が安心して使える道具を作りたい」という思いが生まれました。

現在高校2年生ですが、社会人野球チームでプレーし、より高いレベルでの技術やチームワークを学んでいます。この経験は、将来自分のブランドを立ち上げるとき、仲間と協力して製品をつくる上で必ず役立つと感じています。また工業高校では金属加工や機械の基礎、製図などを学び、ものづくりの奥深さや正確さの重要性を実感しています。自分の手で形にする経験は、将来の道具づくりに確実に生きてくると考えています。

私は将来、自分の名を冠したブランドを立ち上げ、野球を愛する人々に喜ばれる道具を届けたいです。子どもが初めてグラブを握る瞬間や、選手が試合でバットを振る瞬間に、自分の製品が寄り添っていることを想像すると大きな喜びを感じます。努力、協力、思いやりという野球を通して得た学びを力に変え、これからも夢に向かって歩み続けたいと思います。

「母子家庭になってから」久保さん

皆さんこんにちは。私は灘区たちばな会会員の久保千津と申します。

私は娘が3歳、息子が2歳の時に離婚をしました。理由は、夫との生活感や子育てでの考え方の違いからでした。それからの私は、母子だからと弱音を吐かず同僚と同じ待遇で仕事することも決めて働きました。仕事が一番、子どものことは二の次、子どもの学校の行事も十分に参加することができず参加できない理由を今は働かんとかかんねん!と自分に言い聞かせていたように思います。

そんな中、大きな病気や問題なく育っていた息子が中2の夏頃から学校を休みがちになりました。それからの私は息子を学校へ行かせようと力づくで手を引っ張ったり怒鳴ったり、あの手この手を使い、今思うと毎日が戦いでした。学校の先生や息子の同級生も毎日誘いに来てくれ、最初のうちは息子も学校へ行っていたのですが、そのうち友だちの誘いにも無視をするようになったのです。その頃の息子は顔色が悪くうつ状態だったと思います。どうしたら息子は学校に行ってくれるのか?と考えるのもだんだんしんどくなり、仕事で忙しいからと見て見ぬふりをしていました。今思うと諦めていたのかもしれませんが。そんな中同級生のお母さんが息子と関わってくれるようになったのです。息子を家から出そう出そうとしてくれ、ほとんど

学校に行こうとしない息子を卒業式は絶対に出なあかんケジメやと、必死に息子と向き合ってくれたのです。私は正直卒業式に出るのは無理やろなと半分諦めていたんですが、息子は「あのお母さんが言うなら裏切られへん」と卒業式に出たのです。今までの状況を考えると本当ウソみたいでした。今思うとあのお母さんがいなかったら息子はどうなってたかなと怖くなります。もしかするとあのまま引きこもりになってたかもしれません。ほんとに感謝しかありません。その息子も今は18才になり、逆に私のことを大丈夫かと気にかけてくれるようになりました。私はその時の身近な友だちとの繋がり、子どもと向き合うことの大切さを知りました。

たちばな会との出会いは、娘が新1年生のお祝い会に参加したことがきっかけです。たくさんの文房具用品をもらい嬉しかったことを覚えています。それからたちはな会でのたくさんのイベントに参加させてもらいました。今までお世話になったたちはな会へ恩返しができたらと思い、今は運営の方に関わらせていただいています。たちはな会での活動も少しずつ知るようになりました。まだまだたちはな会の存在を知らない方がいると思います。私が経験した人との繋がり大切さやたちはな会での活動が一人で悩んでいる母子の人達へと伝わるよう願っています。

特別講演

「ひとり親家庭法律相談40年を振り返る」

大内 ますみ弁護士

昭和60年7月の開始から令和7年3月までのひとり親家庭法律相談の傾向や法律の整備について、振り返ってご講演いただきました。



アトラクション

イタリア声楽協会

誰もが聞き覚えのある有名なミュージカル曲から始まり、なかなか鑑賞する機会のないオペラの名曲まで、迫力と美しい響きに聴き入りました。最後は、馴染みのクリスマスソングメドレーを全員で熱唱しました。1年の締めくくりにあふれる活気あふれる神戸大会は、幕を降ろしました。

仲間と集い、楽しみ、次世代にも「つなごう人の輪」を再認識する大会となりました。



たちばな会

行事予定

2026年
1月～6月

東灘区

2月 新年会
3月 人形劇
5月 日帰りバス旅行(堺)
6月 工場見学(酒蔵)

灘区

1月 ボウリング大会
2月 日帰りバス旅行
3月 新一年生お祝い会
5月 物づくり会

中央区

1月 新年会
2月 美BODY体操
3月 日帰りバス旅行

長田区

1月 新年のつどい
2月 料理講習
3月 新入学・ご卒業お祝い会
5月 総会

垂水区

1月 餅つき大会
3月 いちご狩り
～城崎マリンパークへ
5月 ボウリング大会

須磨区・西区

1月 新年会
2月 こどもバス旅行
3月 調理実習
5月 総会
6月 わいわいボウリング

兵庫区・北区

1月 落語鑑賞会
3月 母と子のバイキング
5月 こうべ動物王国
6月 料理講習会

● 編物、民謡、書道の教室の開催
● 学習支援教室を開催
連絡先: むつみ会館 ☎078-511-7551



バス旅行・楽しいイベント活動をしています!



たちばな会に入会しませんか?

ひとり親や寡婦の方のくらしに役立つ情報や交流を図るために活動をしています。
楽しいイベントも企画しています。

お問合せ: ひとり親家庭支援センター内 社会福祉法人神戸市母子福祉たちばな会事務局 TEL078-341-4532

各区でも、
バス旅行やイベントを
開催!!

2025年度も応援基金・ご寄付ありがとうございました

夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金制度」

ローソングループと
全母子協による奨学金



対象

中学3年生
～高校3年生

奨学金
給付

月額3万円
(返還不要)

※2026年度の募集については、2月中旬に
全母子協・当センターのホームページに掲載予定

団体のみなさま

赤い羽根共同募金

一般社団法人 バンクフォースマイルズ(コスメバンクプロジェクト)

社会福祉法人 神戸市社会福祉協議会

公益財団法人 神戸新聞厚生事業団

※個人が、社会福祉法人神戸市母子福祉たちばな会へ寄付金を
支出した場合、所得税控除制度の適用を受けることができます。